



## “SG 40th Anniversary Jamboree”の成功を願って

かたつむり21 40周年記念事業実行委員長 原口 和博

身体にハンディキャップを抱えた子供たちと共に歩いて40年が経ちました。

暮らしと健康、経済と自立、恋と別れ、戦争と平和、親子と仲間… 様々な人生を歩み

ながら、私たちは今も大阪肢体不自由児サービスグループ(SG)との接点を保ち続けています。

それはただ、SGを必要とする子供たちのニーズがあるというだけでなく、私たち自身も、様々な形で活動に参加することを通して、生きていることを実感したり、有形無形の宝物を貰っているからではないでしょうか？

そこで、今度の40周年事業は、これまでにSGに関わりを持った人、これから関わりを持とうという人々が集い、新たな10年に向かって共にやっていく力を蓄える大イベントにしようと考えました。

開催日は平成18年4月16日(日)。場所は大阪市南港・舞洲スポーツアイランド。緑と海に囲まれ、遠くには明石海峡大橋や六甲、生駒山などが遠望できる絶好のリラクゼーションスポットです。

歌い、踊り、叫んでも誰も文句は言いません。食べ過ぎたり、飲み過ぎたら自分で責任を取って下さい。ファイヤーサイトでは様々なゲームが…、テントサイトでは料理やお楽しみコーナーが…、あれれ、道行く仲間たちのあいだを縫うようにして、おかしなパフォーマーたちが踊っているよ…。

何が起こるか、何に感動するかは、これからのお楽しみ。これからが企画の正念場です。

リーダーはもちろん、キャンパーの皆も、お母ちゃんやお父ちゃんたちまで企画と演出に参加して、春の一日を思う存分楽しみましょう。

さあ！みんなのココロとカラダに元気をみなぎらせて！大阪湾に向かってよ～い！ドン！

すでに、立ち上がっている準備のための実行班にご参加下さい。

また、これからもっといろいろな実行班が立ち上がり、あちらにお願いしたり、こちらで引き受けて頂いたり、そんなやりとりがもう始まっています。

希望する実行班に名乗りを上げて、積極的にからんで下さい。オープニングまでの準備もきっと楽しいですよ。もちろん、SG現役も加わります。

- (1) 名簿班…松木、杉野、清石
- (2) パンフレット班…黒川、石谷、伊東、林(純)、岩藤(和)
- (3) プログラム班…種子島、林、岩藤(雅)
- (4) 資金計画班…原口、浅利
- (5) 本部事務局…記念事業実行委員会

### ● 名簿や住所、残ってませんか？(お願い)

今回、有力な記念事業案として計画しています『SG 40th Anniversary Jamboree』は、過去40年間にわたるサマーキャンプ等の諸事業に参加した全ての人を対象にしようと考えています。

皆さまのお手元にある当時のキャンパーやリーダー等の名簿、サイン帳等を調べて頂けませんか？一人でも二人でも判ればお知らせ下さい。メール、FAX、返信はがきでも結構ですのでお知らせ下さい。お願いします。

なお、個人情報保護法の趣旨に沿って慎重に取り扱います。

SG後援会「かたつむり21」

531-0072 大阪市北区豊崎3丁目11番1号

大阪婦人ホーム 気付

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

電話：06-6375-3731(事務所)

電話・FAX：072-661-4625(松木)

Mail to: akbkj500@tcn.zaq.ne.jp(松木)



### 今年もやりました、サマーキャンプ！

キャンプ長 種子島公望 (SG委員長)

今年のキャンプも、昨年同様八チ北高原の近く『とちのき村』にて8月12～14日までの2泊3日、キャンパー12名、リーダー38名、総勢50名ほどのキャンプとなりました。

今年のテーマは“食い倒れグルメキャンプ”。すべてのプログラムに【食】の絡む念の入れよう。バーベキューに手打ちうどん、アイスクリーム作りなど本当にグルメキャンプの名に恥じないキャンプでした。

PD(プロデュース・ディレクター)は“まちゃみ(藤田雅巳)”，サブPDが“まさよ(清石真代)”の初コンビで、今までとは違ったキャンプを目指して始めました。3日間とも天候には恵まれず、常に雨が降るような天気、熱中症どころか寒いぐらいの気候で、水プロ中止や“まさよ倒れる事件”“無線聞こえん誰か出んかい事件”“フーの耳ハレルヤ事件”などハプニング続出で、エピソードも盛り沢山の3日間でした。

新人さん達も個性派揃いで2日目の雨天中止となったファイアー代わりのキャンドルサービスは、近年まれに見るドタバタ騒ぎ。歌うは踊るはカップは走るはの“サバト”状態で、非常に楽しいものでした。

また、この9月25日に中津の事務所で思い出会を行いました。子供達も10人参加で、キャンプの思い出をたどるゲームなどで大いに盛り上がり、次の「餅つき」での再会を誓い解散しました。



### 3年ぶりのキャンプに参加して

林 隆夫

3年ぶりのキャンプに参加しました。今年のキャンプは、山キャンプということで、昔の能勢のダイヘンキャンプ場を想像し、ワクワク、ドキドキ。大阪から車で数時間、もう少しで日本海に突き当

たってしまうような八チ北高原の一角にある“とちのき村”キャンプ場でした。

想像とは大違い、とても立派な建物が多くあり、え～、ここでキャンプ?? でも、キャンプサイトは奥まった自然に囲まれた中にあり一安心。

日程がお盆の頃と重なり、残暑厳しいキャンプを想像していたのですが、あいにく、ずっと雨模様のキャンプで、肌寒く感じるような時もあったくらいです。

プログラムも天候に恵まれず、変更を余儀なくされた場面も多々ありましたが、リーダーのチームワークで何とかスムーズに乗り切ることが出来ました。

これには『追い詰められた時



には皆が協力し、何とか凌ぐ』というSGの伝統がまだ引き継がれていることを確信した次第です。

ソウルから帰国後、2週間程しか経ってなく飛び入りでしたが、自然とみんなの中に入って行くことができ、SGキャンプの楽しみをまた思い出させてくれました。

さらに体力の限界をも教えてくれました。年相応の十分な体調管理が出来なくては、皆に迷惑を掛けてしまうということをも身をもって体験しました（キャンプ最終日はバテました）。来年は是非ベストコンディションで臨みたいと思います。

### 一年の中のたった3日間なのですが～



“まちゃみ” 藤田雅巳 (PD)

皆さんお久しぶりです！お元気ですか！やっと、やっと声が元に戻ってきました。

今年の夏は本当に早かった…。というのも、キャンプ7年目にして、初PDという大役を仰せつかって、“エライこっちゃんあ～”と思

いながらも「おいしく、楽しく、仲良く、やったことがない事がやりたいなあ～」というコンセプトをもって臨みました。

あいにく、天気の方がイマイチで、水プロが中止になったり、オリエンテーリングも少し違う形になったり、声が出なくなったりハプニングもありました。でも、キャンパーさん達の優しい声援と気遣い、リーダー・スタッフさん達の協力などなどのお陰で、何とかまちゃみなりに楽しく過ごせたような気がします。皆さんはどう感じてくれているのでしょうか？

特に、今回が最後のキャンプとなる高校3年生には、例年のトーチを使ったファイアーができなかったため、残念な思いをさせてしまったのでは…と心残りはありますが、大テントという狭い空間で、キャンドルを囲んだ2日目のファイアーはいつもよりも、もっともっと皆と一体になれた気がして、自分の役割も忘れそうになるくらい、すごく楽しいものでした。

一年の中のたった一回、たった3日間のキャンプ。私にとっては、毎年すごく楽しみなイベントの一つです。今回、そのイベントの中心となって皆と楽しめたこと、すごく幸せに思います。

### ご迷惑をおかけしました…

“まさよ” 清石真代 (Sub PD)

皆さん、お疲れ様でした。今回は、一杯一杯になって

しまっ、スタッフを始め周りの方々には大変ご迷惑をおかけしました。さらに、自己管理不足でポジションに穴を開けてしまっ、本当にすみませんでした。

二日目、私は寝っぱなしだったので、どうやって皆の前に出て行く…顔向けできない…と悩んでいましたが、皆さんの暖かい言葉や笑顔に励まされ、復活することができました。

今回のキャンプで、本当に一人の力ではなく、様々な多くの力が合わさって初めて、大きなパワーとなり、素晴らしいキャンプができるのだと云うことを自分の身をもって実感しました。

スタッフ、プロパティの皆さん、急で無理なお願いも聞いて頂きありがとうございます。新人さんもすごく積極的にプログラムへの参加姿勢や子供達との関係も日毎に繋がりの深いものになって行きました。

やっぱり皆で何かするっていいなあ～、キャンプっていいなあ～、やっぱり“SG最高”で～す！！



### 懐かしいひととき～…でも?! やっぱり?!

岡村 安敏



SGそしてかたつむり21の皆さん本当にお疲れ様でした。

約25年ぶりに（数年前の琵琶湖キャンプは部分参加でしたが）フル参加させてもらいました。

久しぶりの山でのキャンプとのことでしたが、雨男（私?）の参加のためか、雨にたたられ、プログラムの変更を伴ってしまい、キャンパー・リーダーの皆さまにはご苦労様でした。

PCとしてあまりお役に立てなかったのでは？と少々申し訳なく思っています。懐かしい先輩方とのひと時で、若い頃に戻れたような気がしました。が!、睡眠不足は気にならなかつたものの、体力が…年を感じさせてくれました!。ガックリ…

でも、またお役に立てる機会があれば、参加させて下さい。今回参加できなかった方々とも、また、次の機会にはお会いしたいものです。

PS：できれば、カウンセラー以外のリーダーとキャンパーとの触れ合いがもう少し持てるとよかつたかなと感じました。

## 能勢 Autumn Camp 2005 の開催について

### 能勢 Autumn Camp 実行委員会

今回で6回目となる「能勢 Autumn Camp」は、例年通り、歌やゲーム有り、豪華な野外料理にお酒も有りの“お祭り騒ぎ”です。秋の紅葉を楽しみ、楽しい非日常のひと時を過ごしましょう。

とりわけ、今回は、SG創立40周年でもあり、明年4月に開催予定の“SG40th Anniversary Jamboree”の開催方法やプログラム等についてフリーに意見交換・アイデアを出し合い、素晴らしい企画に仕上げたいと考えています。

SG活動に関わってなくても、お祭り好きであればどなたでも参加OKです。知人・友人お誘い合わせの上、大勢の参加をお待ちしております。

- ・キャンプ長：林 隆夫（3年ぶりのソウル帰り）
- ・SV：黒川 芳朝（カメラマン兼任）
- ・PD：原口 和博（40周年事業実行委員長）
- ・サブPD：清石 真代（今夏のSGキャンプ Sub PD）
- ・Night Meeting 進行係：杉野 雅子（ドッグ・セラピスト）・種子嶋 公望（SG委員長）
- ・PC：石谷 英治（堺市児童相談所準備室）
- ・サブPC：中木村 拓也（SG・技術系サラリーマン）
- ・食堂：岩藤 和代（大阪市保育所）・林 純子（身体障害者通園施設・看護師）・清石 和子（人形劇団なんじゃ…）
- ・食料調達係：西山 進見（兵庫県丹波市在住・いつもお世話になります）

▼と き：2005年11月12日（土）～13日（日）

▼ところ：愛の郷（ダイヘンキャンプ場）



本年1月のオーサムキャンプのーコマ

\*詳細は別紙案内をご覧ください

### SG創立40周年にあたって

「かたつむり21」会長

黒川 芳朝

昭和40年9月、10人足らずの仲間  
でSGが発足。それから40年。時代  
は大きく変わり、障害児者を取り巻  
く状況も随分と変わってきた。

発足当時とは違い、障害児のほぼ  
全員が養護学校や養護学級に在籍で  
きるようになった。街も車いすで歩き易くなった。しか  
し、社会への“完全参加と平等”は依然としてお経の文  
句でしかない。自立も未だ道険し。SGが活動を継続し  
なければならぬ背景がここにある。

40周年を機に、かつての多くのメンバーが世代を超  
えて集い、楽しい一日を過ごす中で、障害児者の現況を  
理解し合い、希望ある明日に向かってお互いに手を携え  
ることの重要性を再確認できればと思う。同時に、SG  
の次なる活動への大事なステップになるはずである。

### 40周年特別寄付活動のお願い（予告）

来年の4月16日(日)に予定している「ジャンボリー」  
の実施には、おおよそ150万円程の経費が掛かりそう  
で、多くの方々のご協賛が必要となります。改めて連絡  
しますので、寄付活動へのご協力をお願いいたします。

### 会費納入のお願い

SGをサポートする私たちの団体は、皆さんの会費に  
よって維持しています。会費納入の励行をお願いします。

今年度上期までに会費未納のある方には、お知らせと  
振り込み用紙を同封いたしております。

### 衣類ご協力のお願いとお礼

村瀬さん、岡村さん、松井さん、ご協力ありがとうございました。  
そして、ご協力くださったご友人、職場の  
方々にもお礼申し上げます。

婦人ホームでは、ジャージ、バギー等も必要とされて  
います。ご不要になったものがありましたら、引き続き  
ご協力よろしく願いいたします。

（連絡先：杉野雅子 072-792-2488）

### 編集後記

SG創立40周年の年。記念事業に  
向け実行委員会も始動しました。

35周年で出会え、再び歩み始めた  
ように、またたくさんの素晴らしい  
出会いがありますように。そして、  
遠くの会員の方々の架け橋となることを願っていま



す。  
杉野 雅子